

自然環境の保全

札幌の自然環境や札幌に生息・生育する生き物を守ります。

川の美化事業(琴似発寒川一斉清掃)

西区 地域振興課 Tel.011-641-6926

協働

琴似発寒川と左股川の河畔約12kmにおいて、各連合町内会や地元の企業・団体等の有志により清掃活動を実施。平成2年に始まったこの取組は、毎年春(5月)と秋(9月)の2回行っており、平成25年度は春秋合計で3,620人が参加しました。



[http://www.city.sapporo.jp/nishi/news/140906\\_1.html](http://www.city.sapporo.jp/nishi/news/140906_1.html)

自然体験

自然や生き物に対する関心を深めることは、生物多様性への理解を促します。

小学生の夢・10年後の手稲のまち事業

手稲区 地域振興課 Tel.011-681-2445

理解

子どものまちづくりへの関心を高めるため、小学4年生から10年後の手稲の絵を募集し、アイデア作品を受賞した児童を対象に、手稲区内の自然や大学をバスで巡る手稲タンケンツアーを実施。星観緑地で植物観察を実施するとともに、星置川に遡上する鮭の学習をしました。星置川では、水生生物観察も行ないました。



<http://www.city.sapporo.jp/teine/dekigoto/2013/131014b.html>

環境教育

自然や生き物について知ることは、保全の取組を進める第一歩です。

水辺の活動発表会

環境局 環境対策課 Tel.011-211-2882 建設局 河川事業課 Tel.011-818-3414

理解 協働 継承 活用

河川などの水辺での水環境保全に関わる活動の輪の拡大を図ることを目的に、町内会・企業・ボランティア団体などが札幌市内の水辺で行った水環境保全活動等について発表や意見交換を行いました。

〈環境局〉  
[http://www.city.sapporo.jp/kankyo/mizu\\_kankyo/jigyuu/index.html](http://www.city.sapporo.jp/kankyo/mizu_kankyo/jigyuu/index.html)  
〈建設局〉  
<http://www.city.sapporo.jp/kensetsu/kasen/mizube/index.html>



地産地消

農地の生態系の保全や、輸送や生産エネルギーの削減につながります。

さっぽろ食スタイルの普及・啓発事業

保健福祉局 健康企画課 Tel.011-622-5151

協働 活用

第2次札幌市食育推進計画の推進の柱としている「さっぽろ食スタイル(※)」の普及啓発を、食生活改善推進員協議会・食育サポート企業等と連携・協働して実施しました。  
※さっぽろ食スタイル:ご飯を中心に、北海道産の食材をバランス良く組み合わせた健康的な食事を、買い物や調理・後片付け等の環境負荷の低減を考慮して実践する食生活のこと。



<http://www.city.sapporo.jp/hokenjo/syokuiku/s08hokkaido.html>

ごみ減量

生態系サービスの無駄遣いをなくし、有効利用を進める大切な取組です。

生ごみ堆肥化支援事業

北区 地域振興課 Tel.011-757-2407

理解 協働 継承

生ごみの堆肥化についての講座を開催することで、区民のごみ削減、リサイクルに対する意識の向上と取組の促進を図るとともに、地域で作られた堆肥を有効に活用するためのネットワークづくりを進めました。



省エネルギー

温暖化対策は地球上の生き物の生息・生育環境を守ることにつながります。

省エネ・節電啓発事業

環境局 環境計画課 Tel.011-211-2877

継承 活用

省エネ・節電に対する取組の普及と定着を図るため、昨年比で節電を達成した市民に抽選で記念品を贈呈する「節電キャンペーン」や各家庭の実情に合わせた省エネに関するアドバイスを行う「家庭の省エネ診断」、家庭内の消費電力量を画面表示できる「見える化機器」の貸出等、市民参加型の取組を行いました。

[http://www.city.sapporo.jp/kankyo/ondanka/ecolife\\_suishin/index.html](http://www.city.sapporo.jp/kankyo/ondanka/ecolife_suishin/index.html)



家庭の省エネ診断

## 企業・団体の取組

札幌市には生物多様性を守るための取組を行っている企業・団体があります。ここでは、生物多様性の保全に取り組む企業・団体の取組事例を紹介します。

### 企業

#### 株式会社 札幌ドーム

<http://www.sapporo-dome.co.jp/>



緑と住宅地に囲まれた札幌ドーム。

平成13年に建設された札幌ドームの運営会社。札幌ドームは、「建設前よりも豊かな生態系を築く」ことを目指し、鳥が暮らしやすい環境づくりを基調として、森林や水辺、草地など11種の緑地植生モデルを導入しました。現在では30種類以上の鳥が訪れており、その環境の維持を図っています。地域の子供たちが作製した巣箱を各所に設置しているほか、鳥が衝突するバードストライクを防ぐため、西棟ガラス面にバードセーバーを設置しています。

#### 札幌大同印刷株式会社

<http://www.dioce.co.jp/daido/>



照明のLED化を推進 廃インキを抑制

昭和29年創業の札幌大同印刷では、未使用機器の電源オフや営業車両によるアイドリングストップなど、省エネルギー対策を徹底。事務用品やオフィス家具などは、環境に配慮された物品を積極的に購入しています。また、不要になった事務用紙の裏面を社内会議の資料用紙として再利用するなど、レスペーパー化による森林資源の節約対策も実施。さらに、顧客への自社特色インキの提案など、印刷事業で排出される廃インキ等の削減にも努めています。

### 団体

#### 手稲さと川探検隊

<http://t-satogawa.com/>



手稲山の麓や住宅地を流れる里川を中心に、大人と子どもが一緒になって、自然の中での生きもの探しなど身近な自然を感じる活動を行っています。春は野鳥やカエルの卵探し、夏は川の生き物のモニタリングに川遊び。秋と冬は森で樹木のタネや生きものを探したり雪遊び、メーブルシロップづくり。その他、専門家とコウモリやカエルの分布を調べる活動をしたり、木で楽器をつくってミュージシャンと森で演奏会もしています。

#### 北海道エゾシカ倶楽部

<http://www.ezoshika-club.net/>



エゾシカフェスタ メンバーたちとの交流会

北海道で急増しているエゾシカを、「おいしい肉」として北海道の食文化に定着させることで、農作物の被害の減少、北海道の自然保護、生態系の保持を図ることを目的とした活動を行っています。道内で活動する他のエゾシカ団体と連携し、エゾシカの有効活用を進めるため、セミナーやエゾシカ肉の料理教室を開催。また、狩猟地区の視察やエゾシカ料理のPRなどを実施しています。

## 生物多様性さっぽろビジョンの進行管理

生物多様性さっぽろビジョン(P2参照)では、推進する施策として「理解する」、「協働する」、「継承する」及び「活用する」の4つの柱を立てており、柱ごとに成果指標を定めて進行管理を行っています。

### 指標及び進捗状況

施策の柱	指標	基準値 (平成23年度)	現状値 (平成25年度)	目標値 (平成32年度)
理解する	生物多様性の理解度 (意味も知っている人の割合)	33.1%	28.8%	60%
協働する	生物多様性保全活動に参加したり、取り組んでいる 市民・事業者の割合	市民: 5.6% 事業者: 40.4%	市民: 5.1% 事業者: 44.4%	市民: 10% 事業者: 60% ※1
継承する	主な生息・生育地における 指標種の生息状況 ※2	—	—	生息し続けていること、 又は増えていること
活用する	自然と積極的に 触れ合っている市民の割合	24.2%	19.5%	35%
	市民の地産地消や 環境配慮商品の利用促進	地産地消: 65.7% 環境配慮商品: 27.4%	地産地消: 59.3% 環境配慮商品: 25.0%	地産地消: 75% 環境配慮商品: 50%
	事業者の原材料調達時の 配慮の促進	30.0%	57.5%	50%

※1 「生物多様性保全活動に取り組んでいる事業者の割合」(協働する)については平成27年度の目標値。

※2 「主な生息・生育地における指標種の生息状況」(継承する)については、今後、指標種を選定し、モニタリング調査により生息状況を把握する予定。

### 評価と今後の取組

平成25年度は、「理解する」取組として、一般投票や公募により生物多様性のシンボルマーク・キャッチコピーを作成したり、パネル展を開催するなど、生物多様性の普及啓発に努め、「協働する」取組として、市民参加型の植物一斉調査や森づくり、川の美化など保全活動を行い、子どもから大人まで多くの市民が参加しました。

また、「継承する」取組としては、自然環境の保全に向けた市民参加型の生き物調査や環境負荷の低減のための環境マネジメントシステムの運用を行い、「活用する」取組として、省エネルギーやごみ減量、地産地消など、生物多様性に配慮したライフスタイルを推進するため、ハンドブックを作成したり、啓発イベントを実施しました。

成果指標については、市民及び企業意識アンケートを行った結果、「生物多様性の保全活動に取り組んでいる事業者の割合」(協働する)と「事業者の原材料調達時の配慮の割合」(活用する)が平成23年度に比べ上昇し、後者は目標値である50%を超えました。一方、「生物多様性の理解度」(理解する)や「自然と積極的に触れ合っている市民の割合」(活用する)などの項目は微減しており、この数値からは取組の成果が表れているとは言い難い結果となりました。

このため、生物多様性の理解度の向上と市民や事業者の行動の促進のため、今後も普及啓発や市民参加型の取組の強化・充実を図るとともに、生物多様性をよりわかりやすく伝える工夫や関心の低い層への働きかけを行っていきます。

札幌市の取組一覧

P4〜7で紹介した事例以外にも札幌市では生物多様性の保全につながるさまざまな取組を行っています。

Table with 5 columns: 事業名, 概要, 4つの施策の柱, 担当部署. It lists various environmental and biodiversity projects such as '特別緑地保全地区取得整備事業', '都市環境林取得整備事業', and '特別緑地保全地区取得整備事業'.

Table with 5 columns: 事業名, 概要, 4つの施策の柱, 担当部署. It lists various municipal activities and programs including '外来生物の飼育展示', 'サケ・サイエンステーリング', '河川事業に関するパネル展の開催', and '2013春の山菜展'.

自然環境の保全

自然体験

環境教育

環境教育

地産地消

消費

省エネルギー